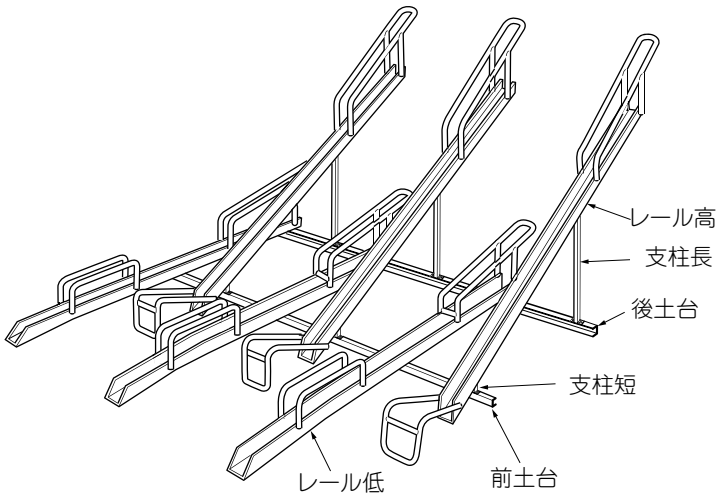
サイクルスタンド組立説明書
KS-F 284・285A・285B・286 型

製造番号

●この度はダイケンのサイクルスタンド〈KS-F 型〉をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。



住宅関連製品総合メーカー
株式会社 ダイケン

成田工場
千葉県富里市美沢11-1
0476(90)0711(代)
本　社 大阪 06(6392)5321(代)
札幌支店 札幌 011(232)3017(代)
東京支店 東京 03(3633)6551(代)
名古屋支店 名古屋 0586(77)7561(代)
大阪支店 大阪 06(6392)5556(代)
盛　岡 019(648)2220(代)　岡　山 086(297)9100(代)
仙　台 022(235)4380(代)　広　島 082(294)9181(代)
埼　玉 048(667)9381(代)　福　岡 092(482)8112(代)
神奈川 045(316)3901(代)　東京西 042(567)1338(代)
静　岡 054(237)5375(代)　ホームセンター課 03(3633)6552(代)

※下記の梱包表・付属部品表により、部品がそろっているかお確かめの上、組立て下さい。

●梱包表

梱包番号	梱包名	甲数/1セット当り				部材名	甲数/1セット当り			
		284型	285A型	285B型	286型		284型	285A型	285B型	286型
L4-2101(284型) L4-2102(285A·B型) L4-2103(286型)	土台	1甲	1甲	1甲	1甲	前土台	1	1	1	1
						後土台	1	1	1	1
						ビス袋	1	1	1	1
						取扱説明書袋	1	1	1	1
L4-2201	レール高低	2甲	2甲	2甲	3甲	レール高	1	1	1	1
						レール低	1	1	1	1
						支柱長	1	1	1	1
						支柱短	1	1	1	1
L4-2301	レール低		1甲			レール低		1		
L4-2302	レール高			1甲		レール高			1	
						支柱長			1	
						支柱短			1	
J3-0804	アンカー袋	1甲	1甲	1甲	1甲	オールアンカー M8×50(W.N付)	4	4	4	4

●付属部品表

( )内予備数

袋名	サイズ	甲数/1セット当り				袋名	サイズ	甲数/1セット当り			
		284型	285A型	285B型	286型			284型	285A型	285B型	286型
ビス袋	トラス小ねじ M8×20	12	16 (2)	16	18	取扱説明書袋	取扱説明書	4	5	5	6
	スプリングワッシャー M8	12	16 (2)	16	18						
	皿形座付きナット M8	12	16 (2)	16	18						

⚠ 施 工 上 の ご 注 意

1　製品は必ずこの組立説明書に基づき施工組立下さい。

2　製品は必ずしっかりとした基礎の上に設置してください。

3　製品は必ず水平状態に設置してください。

4　屋上や崖の上など風当りの強い場所や基礎の不安定な場所には設置しないでください。（強風時自転車の転倒などで人身事故の危険性があります。）

5　サイクルスタンドはオールアンカーで固定しますのでコンクリート基礎工事が必要です。コンクリート以外の場所（アスファルト等）へのアンカー打ちは絶対に避けて下さい。

6　アンカー打ちはコンクリートが完全に乾いた状態で行なってください。

7　アンカーの緩み防止の為コンクリートと製品の間やアンカー穴の中のゴミやコンクリート粉を取り除いてください。

8　オールアンカーの下穴径と深さを厳守してください。

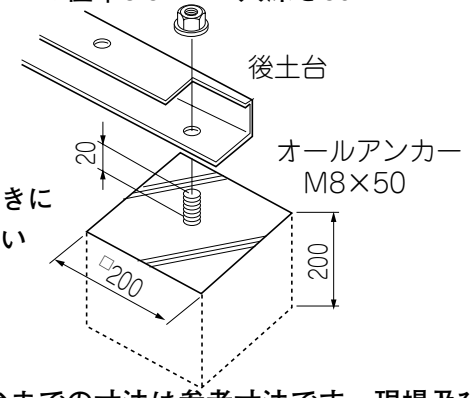
9　事故防止のため、みだりに改造しないでください。

10　組立作業の安全のため手袋など保護具を使用してください。

11　組立が完了した後は、必ず各部分のネジの緩みがないか確認してください。

1．設置スペース．基礎．土台の配置

※アンカードリルの径φ8.5mm　穴深さ30mm



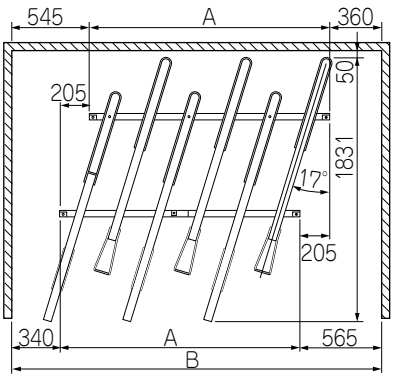
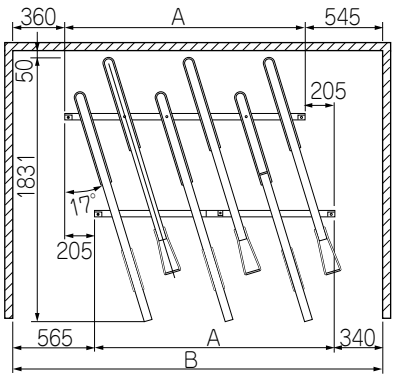
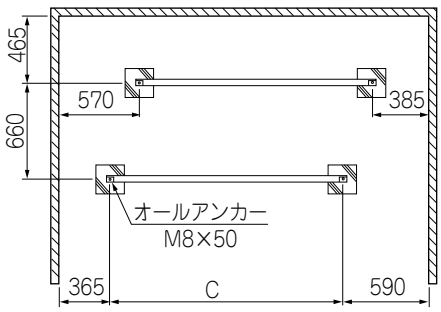
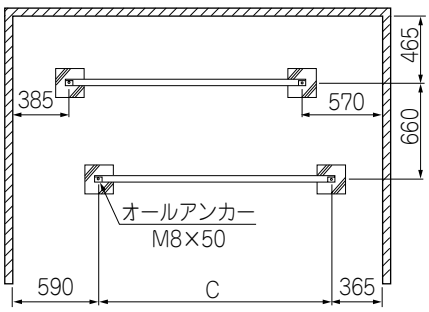
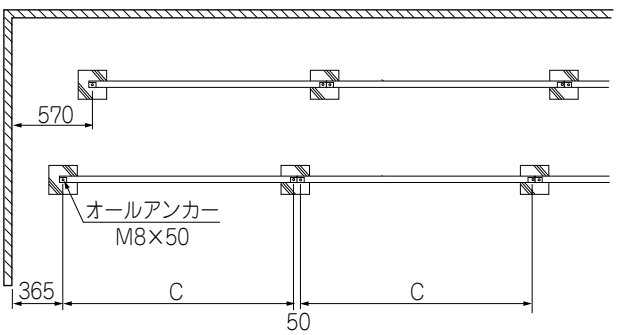
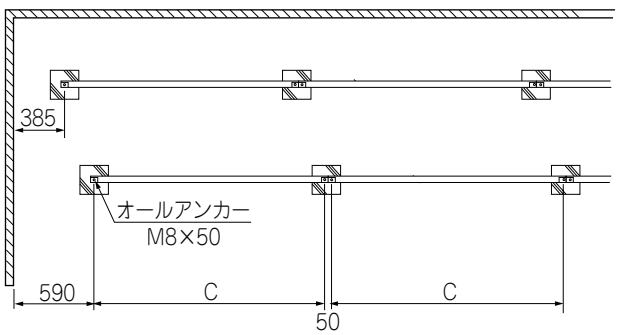
前、後土台の向きに
注意してください

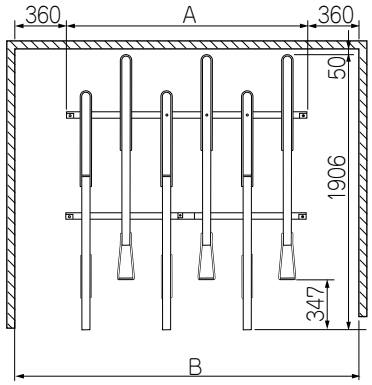
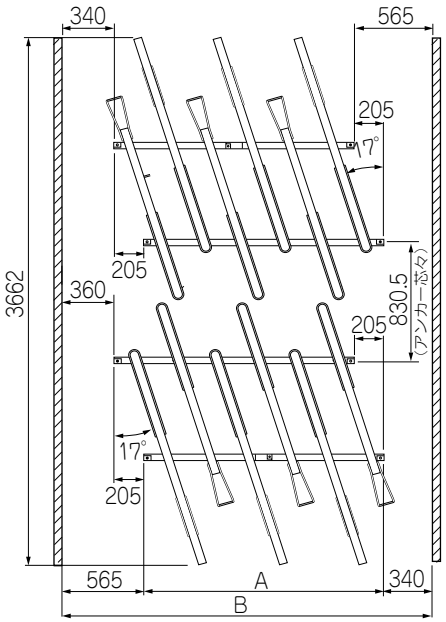
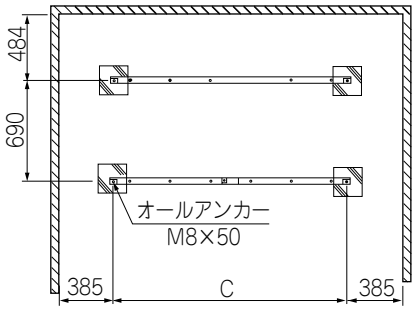
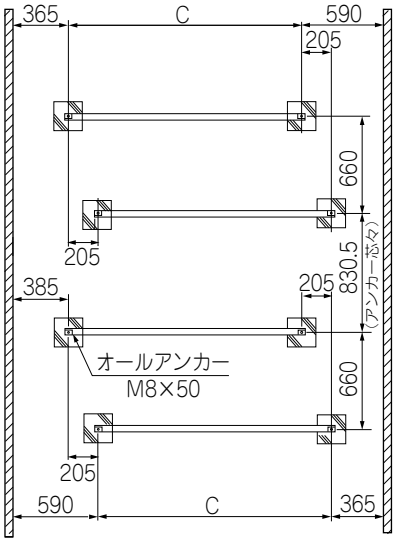
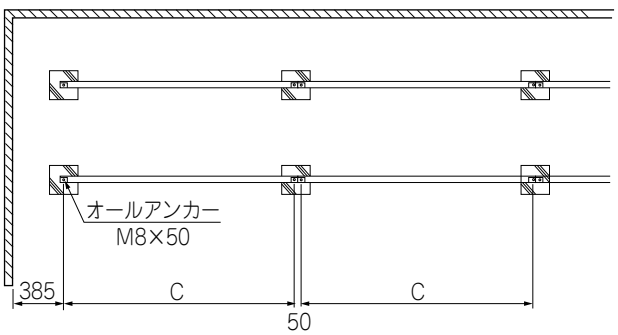
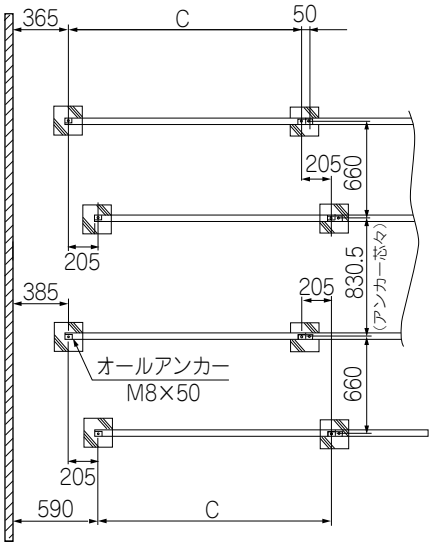
寸法表　(mm)

	284型		285A・285B型		286型	
	左､右斜め	直 角	左､右斜め	直 角	左､右斜め	直 角
A	1120	1120	1400	1400	1680	1680
B	2025	1840	2305	2120	2585	2400
C	1070	1070	1350	1350	1630	1630

●C寸法はアンカー芯々寸法です

●壁面から土台までの寸法は参考寸法です、現場及び自転車のサイズにより異なります

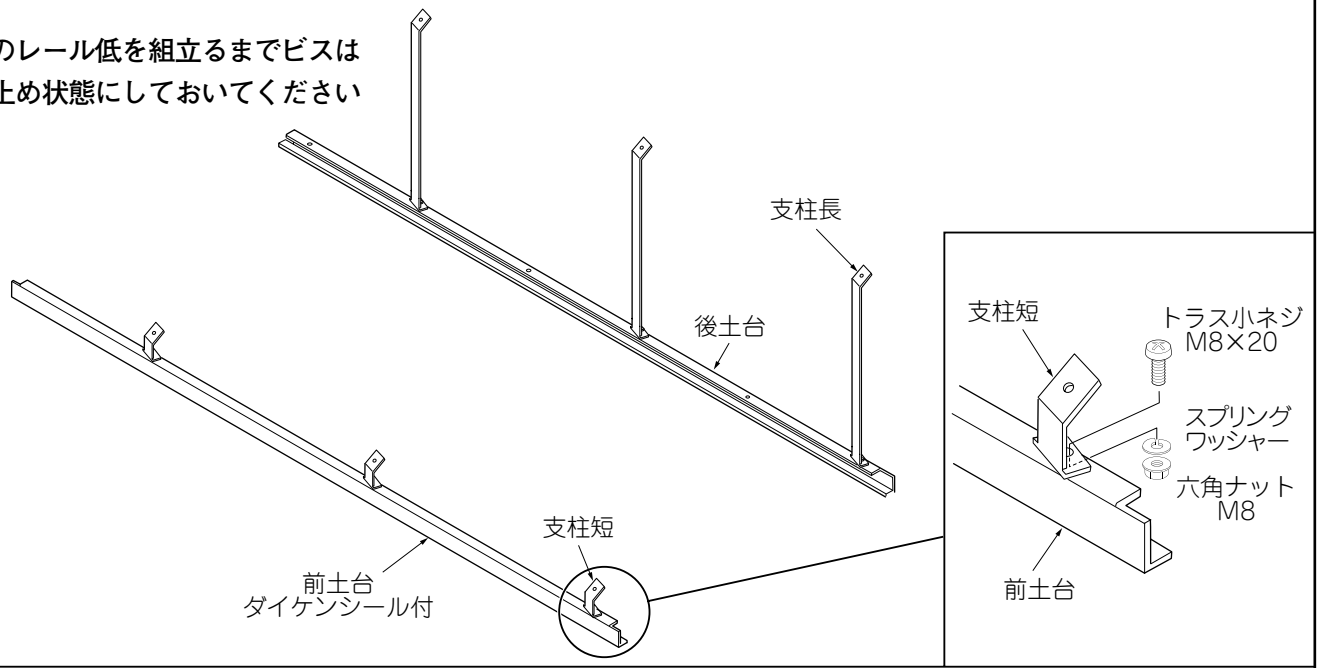
	左斜め17度に設置する時	右斜め17度に設置する時
配置図		
単体の基礎図		
連結の基礎図		

	直角に設置する時	複列に設置する時
配置図		
単体の基礎図		
連結の基礎図		

2．支柱長．短の組立

●左、右斜め又は直角により支柱の角度が変わりますので注意してください

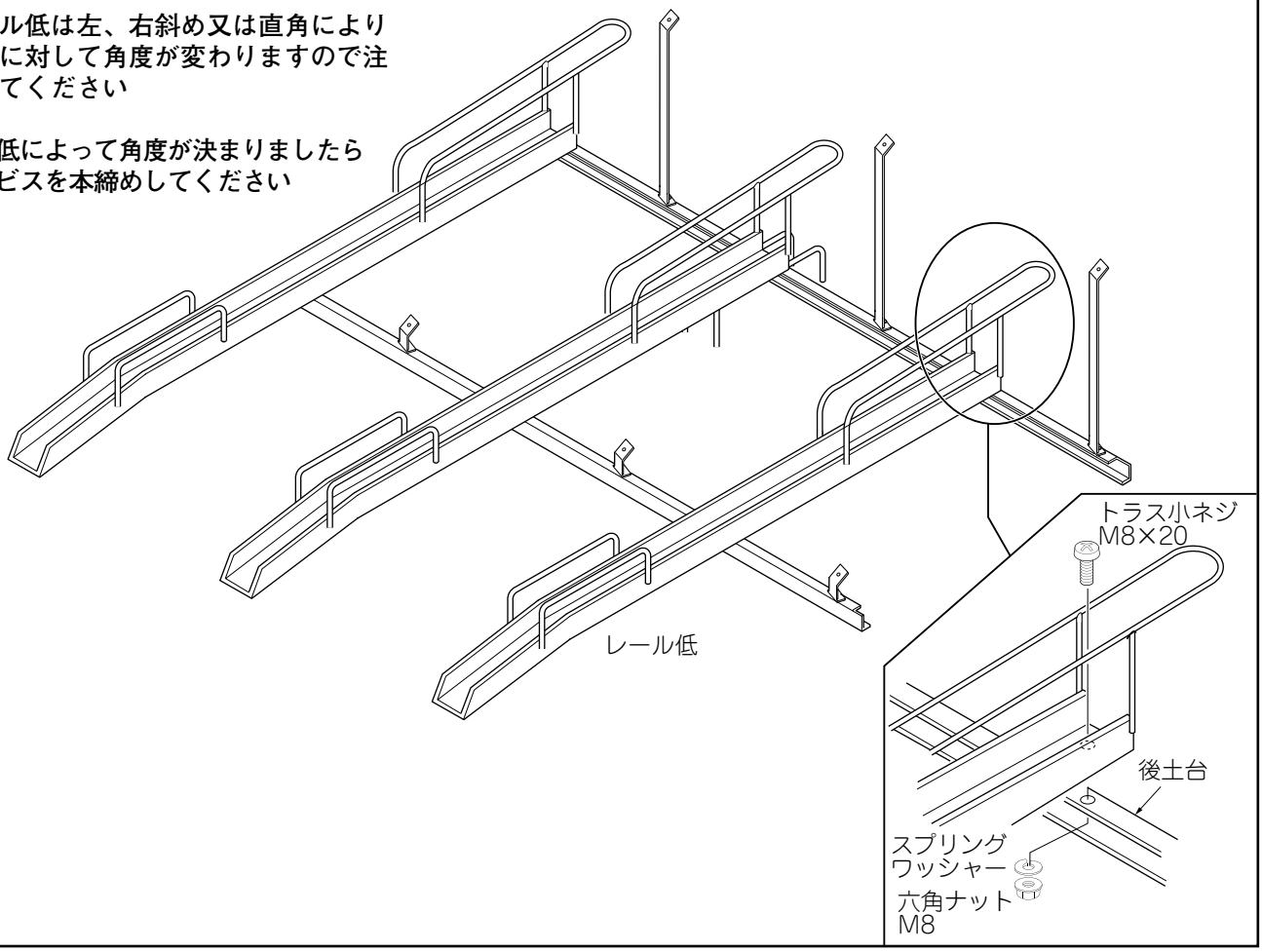
3のレール低を組立るまでビスは
仮止め状態にしておいてください



3．レール低の組立

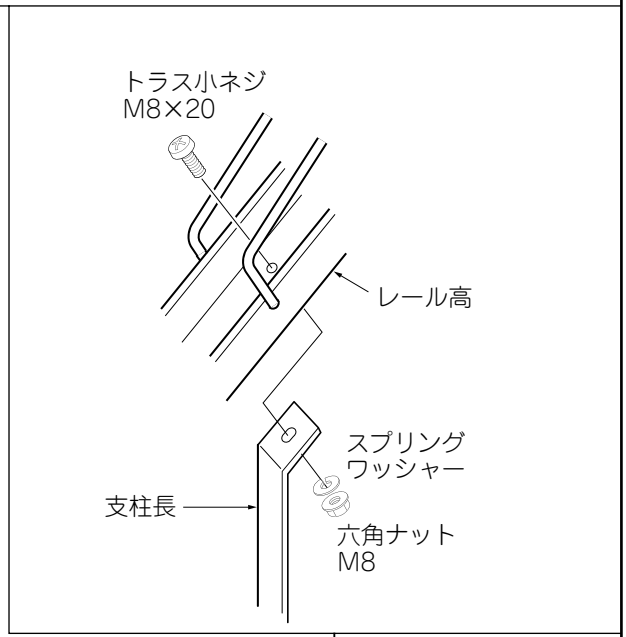
●レール低は左、右斜め又は直角により
土台に対して角度が変わりますので注
意してください

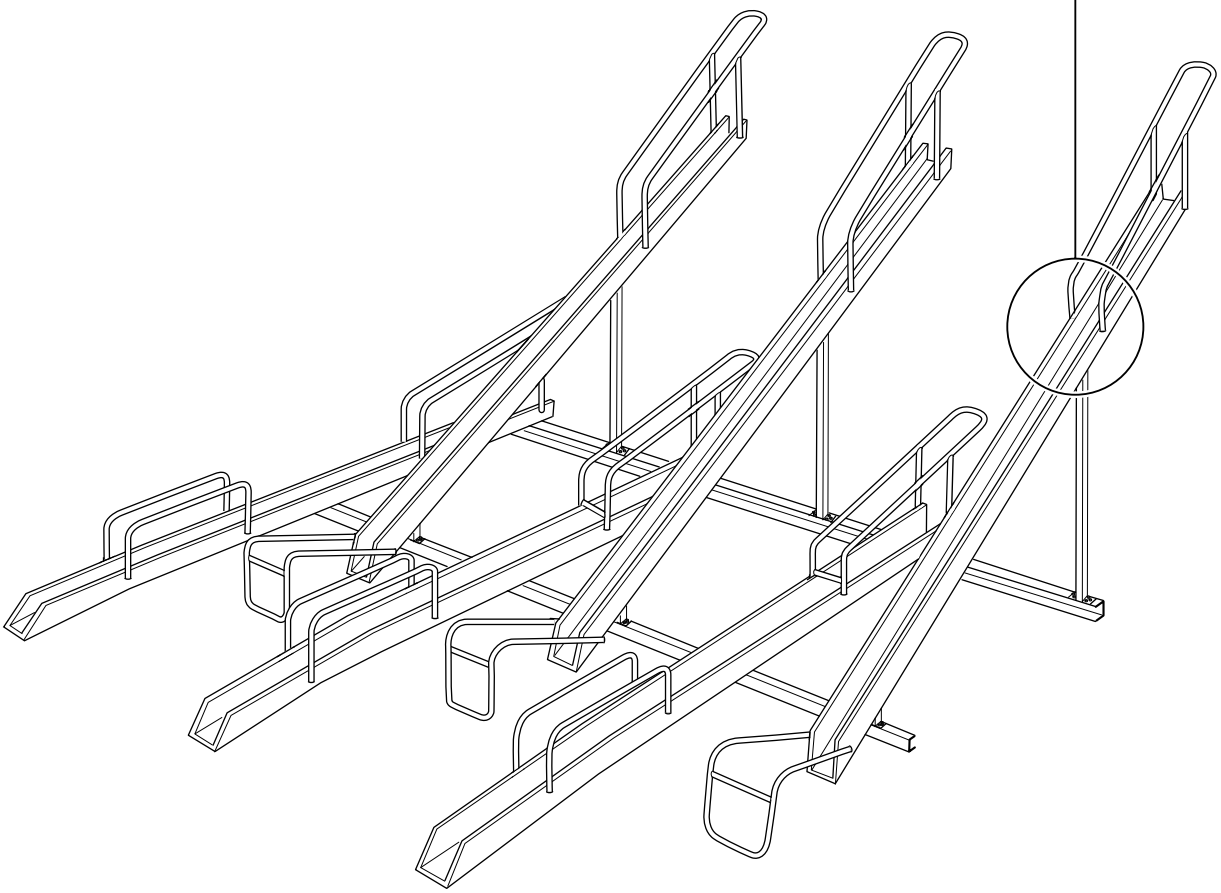
レール低によって角度が決まりましたら
全てのビスを本締めしてください



4．レール高の組立

●レール高は2、3で組立た支柱及びレール低によって角度が決められていますのでレール高の穴と支柱の穴に合せてビス止めを行ってください





〈注意〉以上で組立完了です、最後に全てのネジの緩みがないか確認してください、緩みがある場合は確実に締め付けしてください